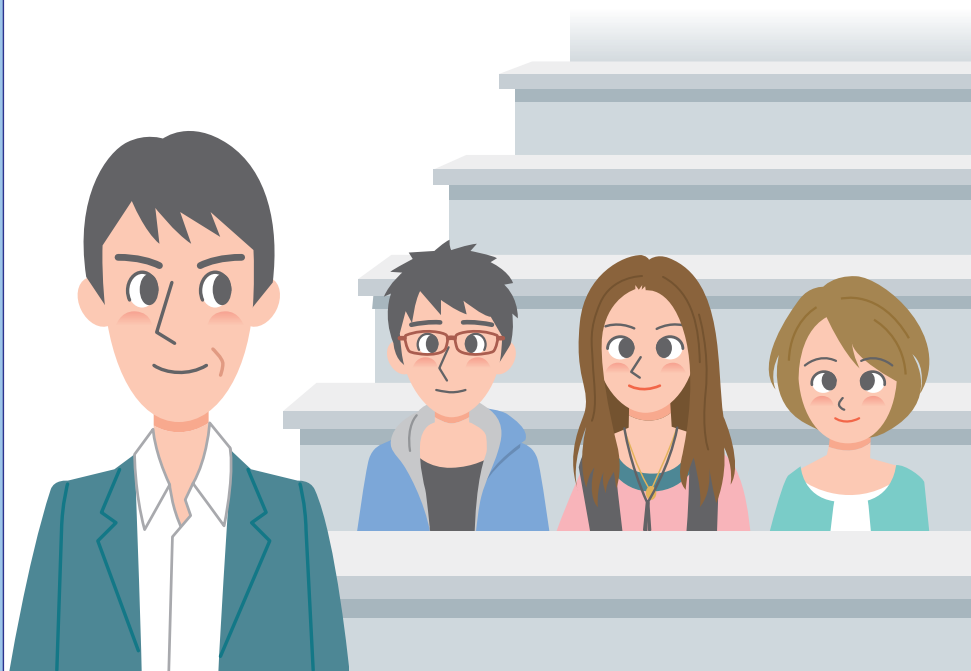
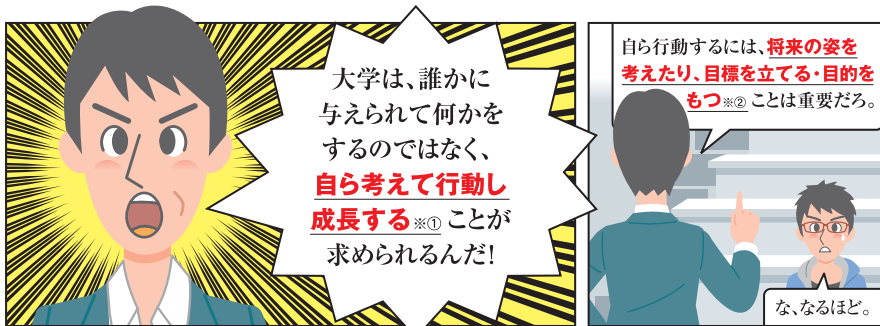
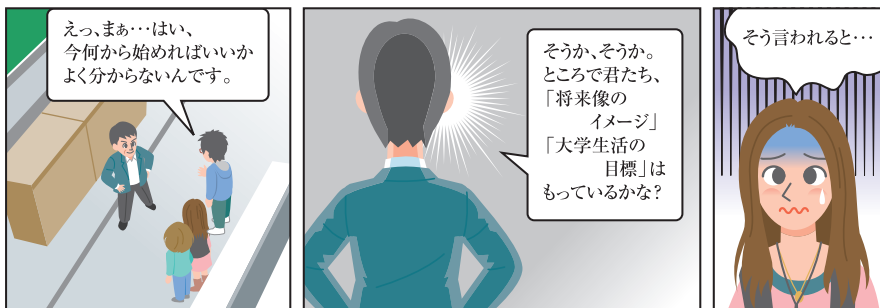
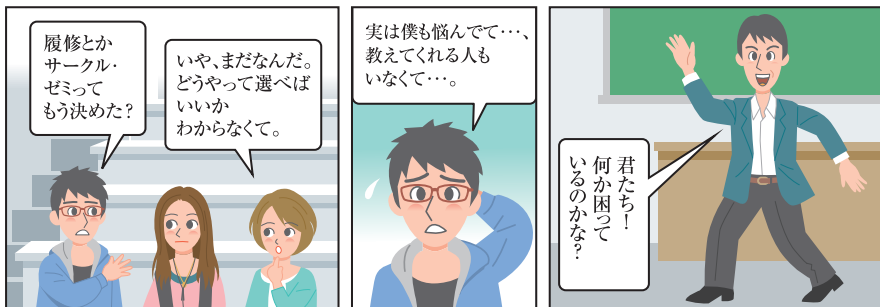


マンガで知ろう

中央大学の  
「知性×行動特性」学修プログラム





※部分はページ下に解説があります！

## 解説

### ※①自ら考えて行動し成長する：

大学は、学問の場であると同時に、社会人になるための準備期間でもあります。社会人の準備期間といっても、マナーや挨拶の仕方などを覚えることを指しているわけではありません。もちろんそのようなことも重要ですが、それ以上に「自ら考えて行動する」スタイルを身につけることが大切です。

大学では、講義をはじめ、ゼミ・サークル・アルバイトなど、自分自身で選択して取組まなければ何も始まりません。「将来のために」「自分の成長のために」「今何をするべきかをしっかりと考え、目標をもって行動することが重要です。」

⇒詳細はP.9

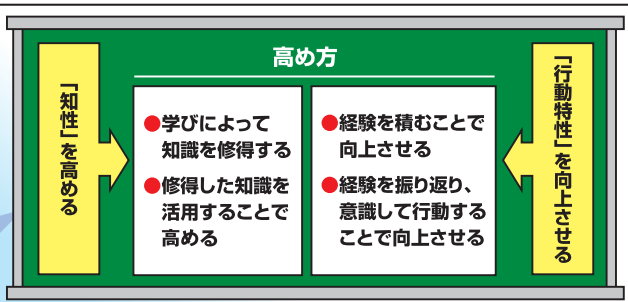
### ※②将来の姿を考えたり、目標を立てる・目的をもつ：

充実した学生生活を送り、卒業した時に、自分は成長できたという手ごたえを実感することは、社会で生きていく上での大きな財産となります。そのためには、自身の将来の生き方(=キャリア)について考え、設計図(=デザイン)を作ることが大切になります。

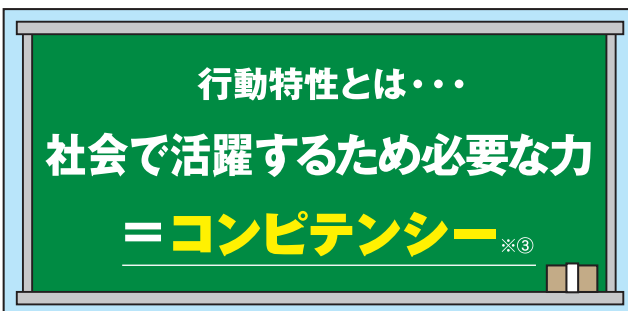
「行き当たりばったり」で大学生活を過ごした人と、キャリアデザインした人では卒業時に大きな差がつかます。学生時代は限られています。その限られた時間を有意義に使うためにも、将来の姿を考え、目標を立て、目的をもった学生生活を過ごすことが重要です。

⇒詳細はP.9

それを実現するためには、「知性」を高めることと「行動特性」を向上させることが重要なんだ



行動特性?



コンピテンシーって、具体的にはどのようなものなのですか?



## 解説

※③コンピテンシー:

「コンピテンシー」とは、社会で活躍している人々に共通して見られる行動、態度、思考などの傾向や特徴を意味します。

⇒詳細はP.10

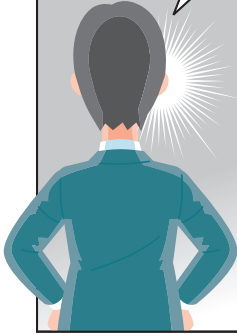
※④中央大学段階別コンピテンシー一覧:

中央大学では、学部共通コンピテンシーとして「コミュニケーション力」「問題解決力」等、7カテゴリ・31キーワードを設定し、各項目にレベル0からレベル5で段階分けした評価基準を設けています。

例えば、「コミュニケーション力」の「傾聴力」は、「他人の意見を聞き、正しく理解し、尊重する」という内容です。レベルの評価基準については、例えば、入学当初はレベル1の「相手の意見を一通り理解している」という段階だった学生が、ゼミやサークルなどに積極的に参加し、多様な価値観をもった人々と交流をはかることで、レベル2の「相手の意見を十分理解している」に高める、というように活用します。

⇒詳細はP.11

どうすれば  
コンピテンシーが向上  
するんだろう？  
と思っているね。



## 中大版 テーマ別プロジェクト※⑤

高めたいコンピテンシー

参加するプロジェクト

コンピテンシー①

授業①

コンピテンシー②

授業②

インターシップ

アセスメントテスト

それぞれの  
コンピテンシーに  
プロジェクトが結び  
ついている※⑥なんだ！



でもコンピテンシーが向上  
しているか、どうやって  
はかればいいのかですか？



よくぞ  
聞いてくれた！

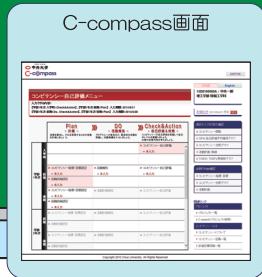


## C-compass ※⑦

C-compassを使えば  
「自己評価のチェック」ができ、  
「目標設定」や  
「取組み」を  
記録できる※⑧なんだ。



C-compass画面



### 解説

#### ※⑤中大版テーマ別プロジェクト:

中央大学では、コンピテンシーを高める場として、特定のテーマごとに大学での授業科目や課外行事をグループ化した「プロジェクト」を設定しており、現在16テーマ140以上の取組みを設定しています(2014年1月現在)。例えば、「インターシッププロジェクト」では、各学部の授業科目である取組みや、課外として設置している取組みなど、21の取組みを設置しています。

⇒詳細はP.24

#### ※⑥コンピテンシーにプロジェクトが結びついている:

各プロジェクトの取組みについては、「取組みを行い、〇〇という行動ができるように成長すれば(〇〇を体得すれば)、△△というコンピテンシー項目がレベル口に向上したといえる」というように、コンピテンシー項目と結びつけた設定をしています。

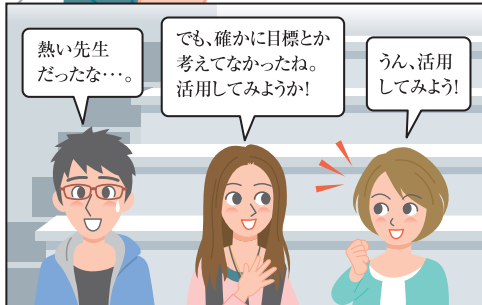
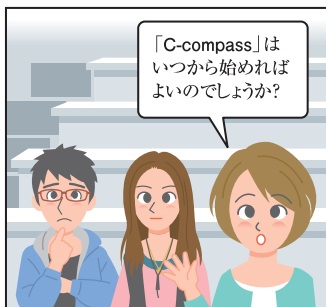
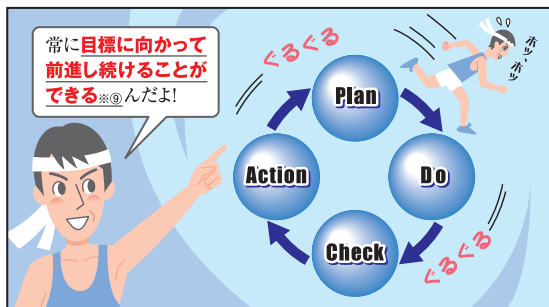
例えば、コンピテンシー項目のうち、「傾聴力」を高めたいという目標を設定した場合、「傾聴力」に結びついた取組みを選択し、該当する授業や課外行事に参加することで、コンピテンシーを向上させることができます。これは、中央大学のHPでデータベース化されており、高めたいコンピテンシーから該当する取組みを検索することができます。

⇒詳細はP.24

#### ※⑦C-compass:

C-compassとは、学生の皆さんが、主体的にコンピテンシーを向上していくために、定期的に自身のコンピテンシーを確認し、学内外での様々な活動に目的をもって積極的に参画できるように支援するためのツールです。PCやスマートフォン等から利用することができます。

⇒詳細はP.19



## 解説

※⑧自己評価でコンピテンシーレベルのチェックができ、

「目標設定」や「取組み」を記録できる:

C-compassでは、半年ごとにコンピテンシーレベルの目標設定や、その目標を達成するための活動計画(=具体的に何に取組むか)の設定、取組みの記録、コンピテンシー変化の確認・評価・改善ポイントのレビューなどを行うことができます。このサイクルを、入学時から卒業まで継続的に取組むことで、コンピテンシーレベルの計画的な成長を図ることができ、また卒業時までコンピテンシーを高めるレベルまでに向上させることが、このシステムを活用することによる「目指すべき目標」になります。

⇒詳細はP.22

※⑨目標に向かって走り続けることができる:

目標に向かって走り続けるためには、学生生活を通じてPDCAサイクルを回し続けることが有効です。

PDCAサイクルとはP(Plan:計画)→D(Do:実行)→C(Check:評価)→A(Action:改善)の4つのステップを踏んで進めていくことで、物事を継続的に改善していく手法ですが、個人のスキルアップ、能力アップにも活用することができます。

また、Actionを次のPlanに結びつけ、サイクルを向上(スパイラルアップ)させていくことで、常に過去より高い目標を掲げて取組むことができます。

⇒詳細はP.21



※⑩使い続けることが大事:

C-compassでは、半年サイクルでPDCAを回すことができるように設定されており、学生生活を通じて目標設定→実行→振り返り→改善のサイクルを回すことに役立てることができます。また、企業が採用時に求めるコンピテンシーのアンケート調査結果も表示され、就職活動に役立てることもできます。